

講座名：日本宗教・思想史研究

注 意 事 項

1. この回答は、口述試験時に参考とする重要な資料です。回答の内容は入学試験の合否判定には直接影響しませんが、回答を提出しない場合は、口述試験を受験する意思がないとみなします。
2. 手書き又はパソコンで作成してください。
3. 回答の1枚目冒頭に、受験番号・氏名・志望講座名を明記してください。
4. 作成した回答はPDFファイル形式で提出してください。
5. 回答作成の際に適宜資料を閲覧しても構いませんが、引用もしくは参照する際には必ず出典を明記してください（Chat GPTなど生成AIの回答を含む）。
6. 回答は、他者と相談・協力等を行わずに、受験者本人が一人で作成してください。
7. 回答は口述・面接試験まで保管してください。課題及び課題の回答を見ながら口述・面接試験を行う場合がありますので、試験当日は、課題及び課題の回答をプリントアウトして、手元に準備してください。
8. 課題内容を他所に掲載・転載すること、および他者への配付を禁じます。
9. 下記の方法で提出してください（電子メールでの提出は認めません。）。

提出期限：1月13日（火）17：00（日本時間）【必着】

提出方法：TAOのメッセージ機能にアップロードすること

提出先：東北大学大学院国際文化研究科教務係

令和8年度(2026年度)前期2年の課程 (春季)	志望講座	日本宗教・思想史研究
------------------------------	------	------------

近現代において、「日本的」「日本精神」「日本性」などの概念は、宗教を語る枠組みとしてもしばしば用いられてきた。近代以降、日本の宗教者や知識人が、宗教と「日本的」という概念をいかに結びつけて語ったのか、一つの事例を挙げ、先行研究を踏まえつつ日本語で論じなさい。なお、字数は1500字程度以上とし、脚注や出典はこの字数に含めないものとする。